

安全安心に決意新た 消防団などで出初式



関係者が見守る中、力強く観閲行進する消防団員

市消防団（佐藤芳之団長）と防犯指導隊（須藤健治隊長）、交通安全指導隊（渡邊勇喜隊長）では、平成26年の出初式



市長らから服装点検を受ける交通安全指導隊員

をそれぞれ開催しました。消防団の出初式は、1月12日に市消防防災センターで行われました。消防団員約1200人が支団ごとに隊列を組み、登米祝祭劇場から防災センターまでの300メートルを力強く行進しました。消防ポンプを使った放水訓練や救助訓練なども披露されました。防犯指導隊と交通安全指導隊では、1月11日に中田総合体育館でそれぞれ出初式を開催。新年に当たり市民の安全安心を守る思いを新たにしています。

とよま路駆け抜ける

第28回カッパマラソン

今年で28回目を迎えるカッパハーフマラソン大会が11月24日、登米総合体育館を主会場に開催されました。大会には、30種目に県内外から2178人が参加。登米町と中田町を通る日本陸上競技連盟の公認コースをランナーたちが駆け抜けました。記録更新を目指すランナー

のほか、サイボーグ009やミッキーマウスなどさまざまなコスチューム姿のランナーもいて、沿道の観客から大きな声援を受けていました。参加者は、レース後にお互いのタイムを確認したり、同会場で行われた「とよま産業まつり」を楽しんだりしていました。



30種目に2100人余りのランナーが参加した第28回大会

森林づくり活動評価

米川生産森林組合が最高賞

米川生産森林組合（及川光雄組合長）が、国土緑化推進機構が選ぶ「平成25年度ふれあいの森林づくり」優良団体表彰で、最高賞となる会長賞を受賞しました。

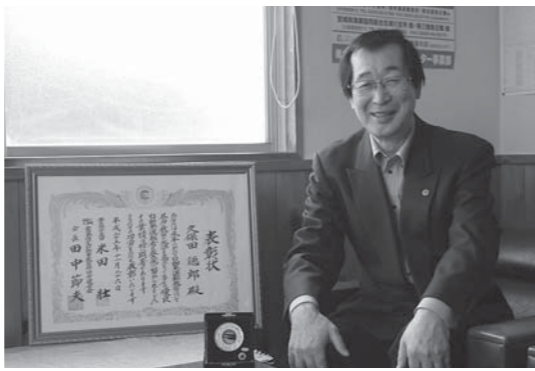
同賞は、緑化の推進に顕著な実績を上げた自治体などを全国植樹祭で表彰しているものです。本年度は全国から会長賞4団体、理事長賞11団体が選ばれました。米川生産森林組合は、山菜やキノコ狩り、「市民参加の新たな森林づくり植樹祭」などさまざまな森林体験イベントを地域と連携して開催しています。今回の受賞は、こうした森林と人とのふれあいを深める活動が評価されました。

教習業務で全国表彰

久保田さん、県内2人目

迫町北方にある（株）北宮城自動車学校（高橋久寿代表取締役）管理者の久保田徳郎さん（中田町大柳）が11月26日、警察庁長官と全日本指定自動車教習所協会連合会連名の教習業務功労表彰を受けました。連名での表彰は県内では過去に1人しかなく、久保田さんが2人目となります。

久保田さんは昭和48年の同校の開校時から教官を務め、30年以上にわたり2万人以上の優良運転者を養成してきました。「受賞は学校全体の教務が評価されたと思っています」と語る久保田さん。「大変光栄で、身が引き締まる思い。責任の重さを感じます」と話していました。



県内で2人目となる表彰を受けた久保田さん。「受賞は職員への励みにもなる」と喜んでいました

第2次総合計画策定へ

審議会委員20人を委嘱

総合計画は、行政運営の指針となる「まちづくり」の最上位計画です。現行の総合計画が平成27年度で終了するため、市では、28年度から10年間の第2次総合計画の策定作業を進めています。1月14日、策定に当たり第2次総合計画の内容を審議する第1回審議会を市役所南

庁舎で開催、委員に委嘱状を交付しました。委員は識見者や各種団体などから選任された20人です。第1回審議会では審議会会長と副会長を互選。会長には宮城大学事業構想学部教授の徳永幸之さん（仙台市）が、副会長には市景観形成会議会長の西條多美子さん（津山町）が選任されました。

35店が自慢の味競う

郷土料理「はっと」を堪能



元気いっぱいの呼び込みの音が会場に響きました

登米市の郷土料理「はっと」が勢ぞろい。今年で10回目を迎える「日本一はっとフェスティバル」が12月1日に開催

され、会場の迫中江中央公園には大勢の人が集まりました。当日は、自慢の「はっと」を提供する35店舗が出店。1杯200円から300円で販売され、訪れた人たちはお目当ての「はっと」に舌鼓を打っていました。

来場者の投票で決まる「はっと大賞」には割烹若鮎（登米市）の「牛筋入りモロヘイヤ塩はっと」、2位はみやぎ東和開発公社（同）の「油麩ときのこのはっと」、3位は鮎信（同）の「海鮮はっと」がそれぞれ選ばれました。



布施孝尚市長から総合計画策定の諮問を受ける審議会の徳永会長（中央）と西條副会長（右）



好天に恵まれ大勢の人でにぎわいました